

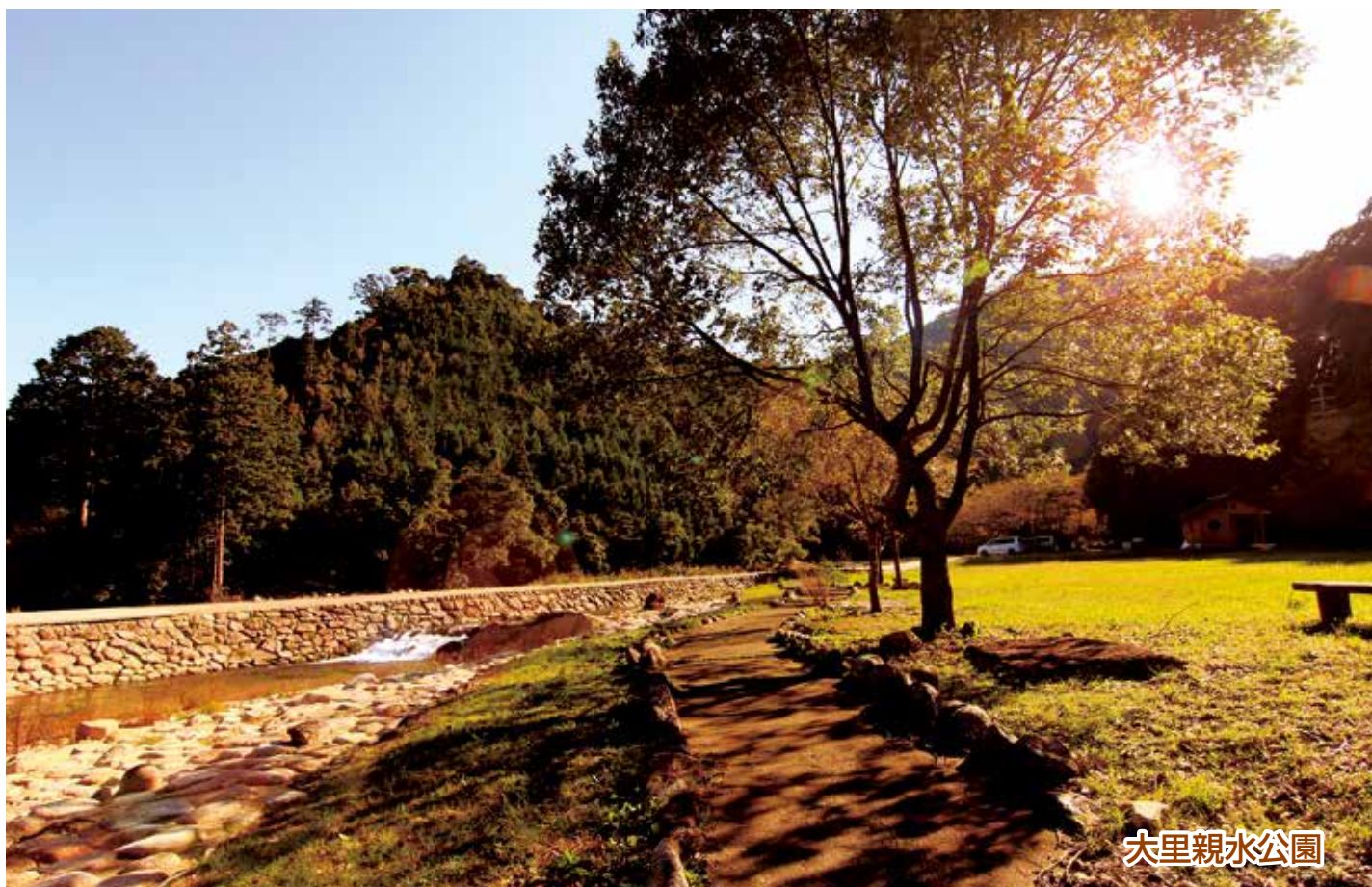


紀 宝 町

議会だより

平成 25年12月 1 日発行

(第28号)



大里親水公園

議 会 日 誌

平成 25年 7月 ～ 9月

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 7月 1日 熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会
(新宮市) | 8日 議会運営委員会 |
| 5日 近畿自動車道紀勢線調査特別委員会 | 9日 平成25年第3回臨時会 |
| 18日 熊野川改修促進期成同盟会理事会及び総会
(新宮市) | 20日 紀南環境衛生施設事務組合定例会(新宮市) |
| 23日 三重県町村議会議長会理事会及び行政視察(明和町) | 30日 紀南介護保険広域連合定例会(熊野市) |
| 25日 議会運営委員会 | 9月 1日 三重県・熊野市・御浜町・紀宝町総合防災訓練 |
| 教育民生常任委員会 | 2日 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会(御浜町) |
| 議会議員定数調査特別委員会 | 4日 全員協議会 |
| 8月 3日 中能登町訪問「織姫夏ものがたり」 | 10日 議会運営委員会 |
| 4日 巡視船「すずか」体験航海(尾鷲市) | 災害復興対策特別委員会 |
| 6日 第65回三重県町村議会議長会定期総会
並びに自治研修会(津市) | 25日 三重県町村議会議長会会計監査(津市) |
| 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動
(東京) 7日まで | 27日 紀南病院組合議会(御浜町) |
| | 紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会
(御浜町) |
| | 29日 一般国道42号線熊野尾鷲道路開通式・開通の集い
(熊野市) |

9月定例会 一般質問 (要約)

井内工業団地

西村 喜久男 議員



・井内工業団地について
・紀宝バイパスの安全性
向上について
・安心・安全な町づくり
について

他

議員

昨年12月定例会でも質問させていただきましたが、元水産加工場の有効活用の取り組み状況はどのようになっていますか。

企画調整課長

元水産加工場跡地につきましては、本年3月26日に和歌山地方裁判所において和解が成立し、9筆、5区画について町への所有権移転登記が行われ、建物及び土地引き渡しを受け、全ての事務処理が終了しております。企業誘致を図る上で、近畿自動車道紀勢線の延伸、紀宝バイパスの開通によるアクセスの向上、標高約33メートルの高台に位置

平成25年第3回紀宝町議会定例会は9月17日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第3日目の19日にわたり11人の議員が、質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。

引き続き、議案審議に入り、条例の一部改正1件、一般会計補正予算、診療所事業特別会計補正予算を可決しました。

第4日目の20日には、平成24年度一般会計決算並びに6つの特別会計決算を認定し、人権擁護委員の推薦についての答申書提出、条例等の一部改正2件、意見書7件を可決し閉会しました。

していることなど、大いにプラス材料と成り得るものと考えております。水産加工場跡地の建物付き区画につきまして、賃貸も含める中で現在、検討させていただいております。

町長

工業団地における企業誘致については融資制度等をしつかりと活用しながら、誘致活動を進めてまいりたいと思っております。こういう経済状況の中でございますので、土地を取得していただきやすい状況、条件を作っていくことも大事ではないかと思っております。

紀宝バイパスの 安全性

議員

成川インターで本線に進入時の安全性向上の取り組みについてはどのようになっていますか。

産業建設課長

現在の成川インター合流部分での対策として、紀宝トンネル内に合流注意の電光掲示板1基、トンネル出口付近に2基、合流注意の路面表示を3か所、減速を促す路面表示、合流ランプには合流注意の看板を3基設置していただいております。交通管理者で

あります紀宝警察に確認したところ、一時停止規制及び信号機の設置など現時点では計画していないことです。

議員

旧大橋への右折できるよう要望についての対策はどうですか。

産業建設課長

最近、旧道の方へも若干交通量が戻ってきており、それらの状況をもう少し注視した上で、右折について判断していきたいと回答をいただいております。

議員

飯盛西交差点内の回転指示ライン表示がなく接触事故等が心配されます。

総務担当理事

飯盛西交差点は紀宝バイパスと、町道成川神内線が交わる交差点です。交差点中央に回転指示ラインが表示されていません。町といたしまして、ご指摘の通り、安全対策上、指示ライン表示は必要と考えており、紀宝警察署に確認したところ、国土交通省と協議の上中心点と回転方向を指示する矢印表示は可能であると回答いただき、是非表示

していただくよう要望させていただきます。

安心安全な町づくり

議員

三重県朝日町で発生した女子中学生の殺害事件について、夜遅くの外出はやめ、犯罪に巻き込まれない行動など、学校での防止策の取り組みはどのようになっていますか。

教育長

夜遅くの外出はやめ、犯罪に巻き込まれない行動など学校での取り組みは、基本的には、三重県青少年健全育成条例をもとに、まず保護者の指導監督のなかで行われるべきものと認識しております。

議員

保護者、地域の方、警察との連携や、今回の事件に対しての防止策についての話し合い等はおこなわれていますか。

教育長

現時点では持っております。

議員

関係機関からの指示があつ

てからではなく、紀宝町独自の対応が必要ではないかと思えますので、考えていただきたいと思えます。夜になると街灯がなく、暗い人気がない箇所の洗い出しと、それらの箇所の対策はどのようになっていますか。

総務担当理事

洗い出し等は行っております。日ごろから防犯委員の皆様には防犯諸活動を実施していただいておりますが、今回の事件を受けまして、地区運営委員長さんに対しまして、犯罪の恐れのある場所などへの重点的なパトロールの実施依頼をさせていただきました。

もうかる農業

議員

もうかる農業を実践できる人材の育成の取り組みについてどのようにお考えですか。

産業建設課長

平成25年に浅里地区において、地域活性化プランを策定し、販売面を意識した六次産業化として浅里飛雪米のブランド化推進に取り組んでいる

ところですよ。そうした地域での取り組みを行う中心的役割を担う人材の育成について、県、町、農家、普及センター等それぞれの立場で何を重点的に取り組んでいかなければならないか明確にし、もうかる農業、魅力ある職業として、農業に取り組んでいけるよう各機関と協力して、人材の育成に取り組んでまいりたいと考えております。



原 章三 議員

・深田グラウンド改修工事
・相野谷川河床掘削工事
・獣害対策と集積型水田のモデル地区実施
他

深田グラウンド改修工事

議員

駐車場50台計画について地域住民から増設の声があがっているが今後の工事予定はどうなっているのですか。

教育課長

地域住民の皆様や施設周辺に來られる皆様に迷惑のかわらないような改善、検討を進めているところです。

議員

70センチ嵩上げを行う計画ですが深田グラウンドは水は

けが悪い、排水対策はどうなっているのですか。

教育課長

嵩上げは熊野川掘削土砂の活用をおこない国土交通省の専門的な助言をいただいて調整をしながら進めていきたいと考えております。

議員

隣接する旧伊勢電子跡地を町が買い上げて総合的な公園、多目的広場として利活用できなのか町の考えはいいですか。

町長

駐車場問題等でも近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしています。伊勢電子さんともお話をしして借用とか、できるかたちで、今後十分検討して対応していきたいと思っています。

相野谷川河床掘削工事

議員

河床掘削工事が出た堆積土砂の処理場所はどうなっていますか。

産業建設課長

町内には処分する場所がないのが現状で請負者により町

外での処分を計画していただいているところです。

議員

具体的な市町は決まってい

特別参与

深田グラウンドについても相野谷川の砂利の活用を検討しているところです。

議員

県河川相野川の河床掘削計画はこうなっていますか。

産業建設課長

阪松原から大里まで約3000㎡の土砂が堆積しており県では現在優先順位を決める作業をおこなっているところでございます。

獣害対策

議員

獣害被害については深刻な状況であり、相川橋から相野谷橋までのエリアを各農道ごとに電柵を張ることによって効率的な対策が出来ると思いますが今後の計画はどうなっていますか。

産業建設課長

具体的な施工については耕作者の方の合意が必要であ

り、厳しいと考えますが町として農家の方の要望に応えられるよう国に対し望してまいりたいと考えております。

集積型水田モデル地域実施

議員

大里地域の水田は現在、一般水稲、レンゲ米、合鴨米、飼料米などバラバラに耕作しているのが現状です。今後若い人にもっと耕作してもらうために其々を集約したモデル地域とした水稲経営を計っていくべきではないですか。

産業建設課長

今までの経緯を考えると現実的には難しいと考えています。しかし分散化した非効率的な経営となっているのも現実です。今後、事務局として提案、協議していただきたいと考えます。

相野谷小学校屋外女子トイレの増設

議員

相野谷小学校の屋外トイレ

については、グラウンドゴルフ、少年野球など一般の方も利用されている。学校長からも要望書が出されていますがどうなっていますか。

教育課長

同トイレについては地元の皆様からも要望をいただいています。日常の学校生活において男女同時に使用するのは難しく、今後、休日の利用状況も確認して検討してまいりたいと考えます。

大里永田地域に一時避難所の設置を

議員

大里永田地域の避難所については、かねてよりいろいろな意見要望がだされていますが、この度、地下倉を一時避難所として新設してほしいとの要望が出されました。町としての考えはいかがですか。

特別参与

今回出された一時避難所の必要性については適地であると認識しています。しかし、地下倉は、自治会所有の建物ですので、すべてやらせていただくことは難しい状況で

す。今後地元で改修、新築となれば町としても何らかの相談に応じれるものと考えます。

※この他に、紀宝バイパス完成後の地域住民の要望、意見についてどのように対応していくのかの質問がありました。



塩野 真議員

- ・交通安全対策の推進
- ・防犯対策の推進
- ・公共交通の充実
- ・情報化の推進
- ・開かれた行政の推進

紀宝町総合計画
後期基本計画より

交通安全対策の推進

議員

当町では、紀宝町交通安全

対策会議条例が定められています。その第2条第1項に交通安全計画を作成し及びその実施の推進を図ることとあります。どのようなものですか。

総務担当理事

計画を定めなければならぬのですが、申し訳ございません。まだ策定ができておりません。今後努力させていただきます。

議員

今後策定するということとで、具体的な数値目標を設定すれば、達成度やどういう取り組みが良かったのか、足らなかったのか、客観的な判断ができると思います。事故で犠牲者を出さないという思いを込めて、数値を入れて計画を策定してください。町がリーダーシップを取ってやっていただきたいと思います。

防犯対策の推進

議員

町民が理不尽な事件の被害に遭わないよう、対策はもちろんです。町の防犯意識を育み、互いに見守り、助け合うことが大切です。事件事故

の起きない町作り、人に優しい町、紀宝町をスローガンに安心安全を守っていただきました。

総務担当理事

様々な活動頂いている皆様から意見を拝聴させていただき人に優しい紀宝町を構築していけたらと考えております。

公共交通の充実

議員

町民バスの方向性として、総合的な視点から運行路線を再編し、町民の身近な交通機関としての充実に努める、また路線収支率のアップと計画にあります、今後どう取り組んでいきますか。

企画調整課長

運行ルート、運行本数、運賃体系や運行形態等を前回のアンケート調査、ご意見等にもとづき、検討したいと思っております。

議員

収支率アップと書かれていますが、町民バスは収支率が問題なのかどうか考えなければなりません。収支率を上げ

るのならば、効率良くするために乗ってない時間帯のバスは減らす、乗る時間帯のバスを増便する。たくさん人が乗る路線だけ走らせれば、収支率は上がります。しかし町民バスの目的はそうじゃないと思います。1000円で一人でも走るセーフティネット的な意味があると思います。オンデマンド方式に切り替えれば効率よく走るわけですから収支率も上がります。しかし導入には大きな費用がかかります。町民バスをどう改善すればいいのか。新しい方式にすればいいのか、現状がどうなのか、客観的に数字とニーズを検証する必要があると感じます。考える機会を持っていただきたい。

情報化の推進

議員

ICT（情報通信技術）を積極的に導入しているのは規模が大きく、財政力が豊富にある自治体での話になりつつあります。その流れに反して徳島県でICTを利用して面白い地域振興をやっている事

例があります。神山町では、東京都内のICTサービス会社6社が古民家の空き家にサテライトオフィスを開設しており、今後も数社が設置を検討している。神山町は過疎化が進み、風情のある古民家が空き家となっており、NPO法人がブロードバンド環境に恵まれた神山町の物件を選定し、利用したい人との橋渡しをしているそうです。徳島県のICTインフラ整備状況は非常に高い状況にあり、県の補助事業も手厚いようです。

しかし真似してもうまくいきません。当町内にどのようなマンパワーがあるのか、発掘し育てていく事の方が大事だと思います。ICTを使った誘致は、自治体同士で競争戦になっていくでしょう。新しいものを誘致する考えよりこういう産業生み出し、作り上げていけるのかを探っていくことが大事だと思います。町長の意見はいかがでしょう。

町長

産業興しに向けては、地域の豊かな資源とかを上手に生かしていく方法もあります。ICTについては、どこの地

域でも活動できるし、地域で仕事をし、心が癒やされる、そういった事も大きな力になってくると思います。我々としてもしつかりとおもてなしをしながら、豊かな生活が送れる地域作り環境作りに努力して行きたいと思っています。

開かれた行政の推進

議員

一住民として自治会の総会、懇談会等に職員の方も参加されていると思いますが、一行政人として会合に参加し、地域の意見を吸い上げる機会を持つて頂きたいと思います。メールモニター制度の計画があり、町に対する要望がスムーズにできますが、機器を使って発信することに慣れない方には馴染まないと思います。自治会等での発言以外に個人の意見、要望をどのようにに吸い上げていくのか、その方法をきっちり提示しておくことが大事だと思います。ある町では次の様な事を行っています。年2回、町広報紙と一緒に町政への提案用

町長

相互通行が出来るような体制作りは、大事な問題であると思っています。住民の皆様方と理解をし合える状況作りを今後とも真剣に取り組んでまいりたいと思っています。

葉書をお送りしています。提案、提言、意見がありましたら、お気軽にお寄せください。住所氏名が記載されている場合には、本人に直接回答し、そうでない場合は、公民館等に掲示しますとあり、また町内の喫茶店や施設に意見箱を設置してありますので、ひらめきやアイデア、自由な意見などをお気軽にお寄せください。それに対して今後の町政の参考にさせて頂き、頂いた意見には回答しますとあります。ご意見箱は非常馴染みやすいやり方だと思いました。町としてきつちりと意見を吸い上げる方法、町政に反映していますと堂々と町民の方に示せるところがあつた方が良くと思います。



山本 精一 議員

・町長の出馬表明について

町長の出馬表明

議員

町長の出馬表明についてお聞きします。平成26年1月21日告示される紀宝町長選挙に町長が出馬されるか伺います。前に、西田政権が平成18年1月以降紀宝町の財政をどのように変えていったのか、一議員として検証させていただきました。まず平成の大合併で公共施設の建設費に使う借金の7割を国が財政支援する合併特例債という給と、合併推進と同時期に進められた国、地方を通じる財政改革で

地方交付税が大幅削減。3年間で約5兆円抑制という鞭で地方財政が大幅に悪化しました。三重県では69市町村が29市町に減り、そのなかで紀宝町の当時の財政状況はどうだったか調べてみると次の通りです。平成17年度合併時、決算では、町債が60億4957万円で、内交付税による還付措置62%。町負担の純借金が38%22億9883万円でした。基金残高3億3400万円。基金残高より、町負担の純借金を引くと、当時マイナス19億6400万円でした。紀宝町の当時の財政状況は危機的とも言えます。もしこの時期に台風12号が来襲していたら、激甚指定を受けていても町負担の財源は厳しい状況だったのではないかと推測します。税源移譲により、財政再建が遅れば厳しい状況になったはずで、次に平成24年度決算では、町債残高が81億197万円のうち、地方交付税による還付措置約76・7%です。町負担純借金が約23・3%の18億8776万円でありました。私が注目したのは、ここでした。合併当時より町債が増えていますが町

負担返済額の純借金は4億円も少ないということは、地方交付税措置の高い借金を選択し、町負担を軽減しているのです。さらに基金は30億624万円で町村合併時と比較すると10倍増になっています。町の規模からすれば短期間に30億624万円の積立金はまさに大きく、基金から町負担純借金を差し引いてもなお11億1848万円が残ります。財政的に悪化すると、国民健康保険税は一般的に高くなりますが、紀宝町の場合、三重県の29市町のうち、下から3番目に安く、また支出についても、職員等の人件費の全国平均は30%以上だったと思いますが、紀宝町は3年間で平均16・5%であります。行政改革による課の統合等が経費削減に繋がっていると思われる。また、国県への要望においても諦めない姿勢が多額な国県の工事費として現れ、労働者の方々への収入となり、町の税収に繋がっている状況にあります。国等の負担金、補助金を上手く活用していくのが西田政権の特徴です。大切な自主財源の町税等をしっかりと積立し、あらゆる

経費を節減しています。財政再建はもつとも厳しい課題でしたが、この時点で成し遂げていると言っても過言ではありません。財政危機を乗り越えたことは、町民の命と財産を守ったことに等しいと思います。改めて西田町長はじめ、職員の努力の賜物と考え、敬意を表したい。以上の実績を踏まえ、ぜひ町長の出馬表明を要請したいと私は思います。町長に伺います。いかがでしょうか。

町長

議員ご指摘のように、小泉政権の三位一体改革で、5兆円規模の交付税の削減により財政状況が大変厳しい状況になりました。その状況下で新しい町が誕生し、私も町民の皆さま方のご支援をいただくなかで町政を担当させていただきましたことになったこの7年余り、町政振興のために鋭意努力をいたしました。内容については議員がおっしゃっていただいた通りでございます。これからも健全経営を目指して取り組みを進めていかなければならないと思っております。当初は総額3億3千万しかない貧乏な町からスタート

したわけでございます。ご指摘のように12号台風がその当時に襲っておれば大変な事態になっていたのではないかと思います。私も合併当時から財政的な問題、課題について行財政改革の徹底的な推進を進めてまいりました。町民の皆様にも大変なご無理をお願いを申しあげた時もございます。これからの町づくりを進めていく上において、社会資本の整備は、なくてはならないと思っております。地域の皆様の生活の利便性の向上、安全安心を図るための施策の実施、その他にも大きな課題がございます。また住みよい町を推進していくために福祉施策の充実も大事な問題でございます。これらを推進しつつ、財政的に健全化を進め、プライマリーバランスを保つ必要があると思っております。特に感じましたのが、町の歴史文化をしっかりと継承し、そして新しいかたちのなかでまた将来に向かって、一步一步取り組みを進めていく。そして私たちの子々孫々が誇れる町、愛着の持てる町、そういった町をしっかりと構築していくこ

とも私の責任だと思っています。これからも、愛するふるさと紀宝町のために、粉骨砕身取り組みを進めてまいります。町長選挙に向けて、しっかりと自分の想いを伝え、努力してまいりたいと思っております。私達の町は一昨年の紀伊半島大水害で大変な被害にありました。これらを踏まえ、今後の安全安心、防災減災対策に取り組んでいきたいと思っております。またインフラ整備についても、熊野まで高速道路が延び、紀宝バイパスの完成、熊野川河口大橋の実現も相成りましたので、これらの道路を町のツールとして地域の振興、そして町民の皆様の福祉の増進に向けて進めたいと思っております。

議員

町長の熱い想いを感じて、私の一般質問を終了します。



市川 潔 議員



・堅実な財政運営の推進について
・町長の政治姿勢について

堅実な財政運営

議員

バランスシートの導入を図り、町財政を分かりやすいかたちで住民に示すとともに、職員のコスト意識によるコスト削減を図ります。と総合計画にあるが現状は。

総務担当理事

前期基本計画におきまして、平成23年度までの導入を目標としておりましたが、未達成となりましたため、今年度末までを目標として、平成24年度決算からの導入を図りたいと考えております。但し、

バランスシートや行政コスト計算書などが作成されても、それらを分析し行政経営に生かすための、ノウハウがほとんどない状態でありますので、職員の学習が必要となるものと考えております。また、コスト削減でございしますが、常日頃からコスト意識をもって事務にあたるようお願いしております。今後とも、後期基本計画に記載致しましたコスト削減の目標に向けて、事務を行ってまいります。

議員

総務省では、努力義務を課したというふうなことですが、いつ頃なんでしょうか。

総務担当理事

平成23年度まででございます。

議員

総務省から努力義務が課せられ、19年度に総合計画が作られ、25年の後期総合計画を立てられ24年度決算から25年度末を目標に諸表を作っていたんだけどという事だが、9月の議会に資料を添えて提出するのでなく、若干ずれてなされるという解釈でよろしいですか。

総務担当理事

24年度の決算を終えてとい

うかたちで、作成を始めるということになります。来年度以降、業務が間に合うようでしたら、9月議会に、合わせてさせていただきます。

議員

町財政の徹底的な見直しを図るため、行政改革推進委員会等により、事務の費用対効果や受益者負担などの検討をおこない、経費の節減、合理化に向けた取り組みを進めま

総務担当理事

すが、現状は。紀宝町の財政状況は、町税収入など自主財源の割合が低く、地方交付税などに依存した歳入状況となっております。

議員

行政改革大綱は、より効果的で効果的な行政運営を実現させるため、紀宝町行政改革推進委員会が組織され、第2次となる行政改革大綱は、本年4月に、計画期間を平成25年度から28年度までの4年間として、策定されております。現状と致しましては、今後、大綱の方針に沿ったかたちで、役場各課により実施計画書を作成し、取り組んでいくこととなります。

議員

この実施計画は、いつ頃立てるのか教えてください。

総務担当理事

4月から半年経過しましたが、今年度中には、必ず、実施計画書を作成します。

議員

実施計画というのはもって速やかにかに立てるべきじゃないかと思っています。

総務担当理事

ご指摘のとおりです。とにかく早い段階で、実施計画が策定できるように努めます。

議員

財政運営について町長のお考えをお願いします。

町長

私どももしっかり健全な財政運営に心がけていくことが一番大事であります。今後第2期の財政計画、行政改革の推進に当たって、町民の皆さまのご理解を得るなかで、進めていくことが必要ではないかと思っています。

町長の政治姿勢

議員

選挙日程も決まったという

なかで町長の想いを聞かせてください。

町長

市川議員から、前回のときにもしつかりと激励をいただき、今回もこういったご質問をいただき大変嬉しく、大変心強く思っているところです。私も皆さま方はじめ、議会の皆さま方のご支援をいただくなかで2期目を担当させていただき、一期目のときに16項目ぐらゐの実施で、二期目で数えてみますと、例えば、ファミリーサポートセンターの開設、中学生の医療費の無料化、飯盛、井田保育所の新築、特別養護老人ホームの設立、福祉の店アプローチの開設、高齢者見回り隊の設置。また高齢者賃貸住宅の誘致、それから近畿自動車道紀勢線の一部であります新宮紀宝道路、熊野川河口大橋の事業化、紀宝バイパスの開通、矢渕中学校前の歩道及び堤防の改築工事。相野谷トンネルの開設と紀宝川瀬線の整備。三重ライスセンターの新設。浅里地区の水道水の給水開始。矢渕中学校の耐震と体育館の補強工事、成川小学校の新築工事。それから石川県中能登町との

災害時の相互応援協定の締結。津本、高岡地区の防災センターの新築、防災拠点施設の建設等数えてみますと26項目ほどございました。私は、一期目より二期目のほうが沢山事業ができたかと思っております。三期目、しつかりと事業を展開していくことができるのではないかと、そんな想いを持っております。これからも一番心配しております安全安心の問題もございまして、人の命が一番大切、子ども達は、地域の宝物でございますし、高齢者の皆さま方は、町の誇りでもございます。こういったことをしつかりと基本にしながら、これからの三期目の町政に向けて、しっかりと取り組んでまいりたいというふうに思っているところでございます。

議員

心のこもった町長の想いを聞かせていただきありがとうございます。日々の業務へのハードルは大変なことだと思います。どうかお体に気をつけて頑張ってください。



高垣 操男 議員

・特別警報の運用開始について

・小中学校における非構造部材の耐震化について
他

特別警報の運用開始

議員

8月30日から特別警報の運用が開始されました。今、紀宝町としてこれに対してどのように進めているか、その点をお伺いいたします。

総務担当理事

気象庁では、これまで大雨・地震・津波・高潮などにより重大な災害の起こる恐れがある場合に、警報を発表して警戒を呼び掛けておりましたが、これに加えて警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想された重大な

災害の危険性が著しく高まっている場合に新たに特別警報を発表し最大限の警戒を呼び掛けることとなり、特別警報の運用にかかる改正気象業務法の施行期日である8月30日から議員おっしゃいますように運用が開始されております。例といたしましては、過去に多くの被害を出しました東日本大震災時の津波、伊勢湾台風時の高潮、紀伊半島大水害時の豪雨などが挙げられており、特別警報を発令して住民に対し、ただちに命を守るための行動をとっていただくような危険を周知するものでございます。市町村では特別警報が発令された場合、速やかに住民への周知を図ることとなっております。なお、9月16日の台風18号の接近上陸では福井・滋賀・京都の3府県に大雨特別警報が発表されました。それらの地域では特別警報に相当する大きな被害が発生しておりました。

議員

起こりうるであろう、この災害に対して今までのように変わつたのか、またどのようにに警報の周知徹底を図っていくのかお伺いしたいんです。

特別参与

この特別警報に対しての周知等についてはリーフレット等で住民に今後お知らせをしていきます。この特別警報運用開始されたときに、台風12号紀伊半島大水害のときのことを少し考えてみたわけなんです。その時には当然成川地区、鵜殿地区には避難勧告指示等基準に沿って発令をさせていただきます。そのなかでも避難行動を取っていただく方が非常に少ない状況にもございました。そのため再度42号線沿いの堤防からの越水が危惧されだしたときに、再度、広報無線を使って、行政言葉ではなく本当に危機感を持っていただくような広報をさせていただいた経緯がございます。ですからやはり住民の皆様には、その時その時の状況を十二分にお知らせをして危機が危険が迫っているという周知になろうかと思えます。ですから基準に沿った警報なり避難勧告なり指示のときはある程度行政言葉といえますか、マニュアルに沿って広報させていただきますが、今回12号のときもそうだったんですけれども、今

小中学校における 非構造部材の耐震化

議員

次に非構造部材の耐震化の
進み具合について今の進捗状
況からよろしく願います。

教育課長

それではご説明させていただきます。これまで全国的にも学校施設の構造体の耐震化は着実に進められ東日本大震災では多くの学校施設が応急避難場所としての役割が果たされておりました。一方、天井材の落下など、非構造部材の被害により応急避難場所としての使用でできなかった事例のほか、多くの学校施設におきまして非構造部材の被害が頻発発生しております。これらの状況などから改めて非構造部材の耐震化の重要性が認識され、有識者会議などにおきましても非構造部材の耐震対策を速やかに実施する必要性が示されたところでございます。

す。本町における各小学校の非構造部材耐震化の取り組みでは、まず平成23年度に矢淵中学校屋内運動場の耐震補強工事におきまして非構造部材の吊り天井を撤去するなどの対応を実施しております。また平成24年度には三重県的小中学校防災機能強化事業を活用しまして、避難経路の主要部分であります。普通教室の飛ドア廊下などに窓ガラスの飛散防止措置を行っております。また各学校におきましては、転倒する危険性のあるロッカー書棚等を固定する対策を行っているところでございます。今後は文部科学省が示しております。非構造部材耐震化ガイドブックに基づきまして、町内小中学校の点検、調査を専門家等に依頼していただきたいと考えております。その上でその調査結果におきまして改善箇所が発見された場合は、国庫補助事業の要件と照合しながら対策につきまして検討を進めていきたいと考えております。

※その他に災害時ペットの同行避難について、小中学校におけるガン教育について、小

中学校における災害時のマニユアルについて、保育所の災害時マニユアルについての質問がありました。



孝一議員的場

- ・年明けの町長選挙に向けての気構えについて
- ・熊野川激特事業の進捗について
- ・ラジオ体操で健康増進について

他

年明けの町長選挙に向けての気構え

議員

町長選挙の日程が発表されました。来年1月21日告示、1月26日が投票日と確定され、4ヶ月余りで、町のリーダーを決める日も迫って来ています。現職町長として、再

度出馬する意思をこの場で表明して頂けないかと思っています。3つの視点から出馬する決意を示して頂けたらと思います。1点目は、この4年間の在職中、幾度となく町の危機に遭遇しました。2年前の台風12号紀伊半島大水害で甚大な被害がもたらされました。危機管理を日頃から持つていなければ、素早い対応で自衛隊に救助を求めたでしょうか。町長は、各方面に人脈、ホットラインも持ち合わせ、危機時には素早くアクションを起こせる人だと思います。その結果、被害を最小限に治められました。2点目は、社会福祉協議会を中心にして、高齢者の「安心な生活」を守る活動が幾つもの団体で成されています。子育て支援も含め、集団検診等、継続的な町の運営に力を注いでいます。3点目は、今後の政策課題です。熊野川激特事業の推進です。堆積砂利の処理、処分が後4年余りで終わるのか不安です。多くの住民の念願でもあった熊野川河口大橋の新事業化も決まり「命の道」「地域の活性化」の期待も大きく、是非、町長の手腕で解決して

貰いたい。南海トラフ巨大地震の発生が危惧されています。「事前防災」として、庁舎隣に防災拠点施設の建設、避難路の整備や、津本、高岡地区には、防災センターの建設、成川地区におかれても、高台に防災施設や地域振興のもと、高台開発が検討され、減災に向けて取り組まれています。これからの行政のトップは、指導力を持ち、スピード感を持って、諸問題を解決して行く勇気がなければならぬと思います。町長には、それらの技量と、資格を会得していると信じています。私の視点から来年の町長選挙に、出馬することを今、ここで力強く表明して頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

町長

町民の皆様方が安全安心で豊かな生活を送っていただく町を、構築することが私の理想です。1月21日告示日の選挙戦に鋭意努力してまいり臨みたいと思います。

熊野川激特事業

議員

平成28年度までの6年間に緊急対策として、熊野川本川河道掘削を行うことになっていますが、後4年余りで、予定通り終わられるのか、お伺いします。

産業建設課長

本格的な浚渫については、10月中旬以降からの予定と聞いています。国交省からも28年度中、必ずこの事業をやり遂げたいとお聞きしています。

議員

中村地区旧庁舎前の河原に降りるスロープの復旧工事の予定を聞かせてください。この地域では、河原への安全な降り口はありませんし、バス停の待合場所も危険です。また、火災時に消化栓が使用不可能の場合、消火活動が出来ない恐れがあります。

産業建設課長

消防面から必要で、紀南河川国道事務所に強く要望させていただきます。

議員

熊野川洪水時に伴う旧大橋の車道部の締切対策の進捗について伺います。

産業建設課長

7月16日紀南河川国道事務所へ熊野川洪水時、南海トラフ地震による津波等を考慮し、迅速な対応を図る為、早期対策の要望を行っております。国からは、国道との関係もあることから、国道の管理者紀勢国道事務所とも調整を行い洪水時における仮閉めきり対策について、調整をして行くとの回答を頂いています。

ラジオ体操で健康増進

議員

ラジオ体操が初めて放送され、今年85年目を迎えた事になります。現在の体操は、ラジオ第一、第二体操とも3代目に当たるそうです。老若男女、子どもまで親しみをもち、知らない人はいないのではないのでしょうか。2020年に東京オリンピックの開催が決まりました。この機会を捉えラジオ体操の継続的な普及を目指し検討して貰えないでしょうか。小学校、中学校でのラジオ体操の取り組みについて、どのような機会に実施しているか伺います。

教育長

運動会、毎時間とは限りませんが、体育授業の前、小中学校で実施しています。

議員

中学校では、「クラスの実情や、活動種目に合わせて作った体操が主流」でよいと理解しますが、小学校では、第一第二体操の「正しい、13種各種運動」を児童に教えるべきだと思います。ラジオ体操には、85年の歴史と親しみがあられ、各種運動の目的、正しい体操の動きを理解することが大切ではないでしょうか。ラジオ体操の認知度は高いが、自己流で動いているようにも見えます。

教育長

運動会等の準備体操で正しいラジオ体操をしている児童は、少ないと感じます。やる以上きちつとやるよう指導させていただきますと思います。

議員

健康づくり推進課長に伺います。高齢者の健康維持、体力低下防止等にラジオ体操は、効果があり、いつでも、

誰でも、どこでも出来ます。町内放送を利用し町内全域で、継続的なラジオ体操の普及活動を検討して下さい。

健康づくり推進課長

継続的な健康増進の一つとして協議検討させて頂きたいと思っております。

※その他に、歩道整備についての質問がありました。



矢熊 達雄 議員

- ・道路全般について
- ・一次産業について

道路全般

議員

高規格道路について伺いたい。今年度新宮あけぼのから

紀宝町までの事業化が決まったが、紀宝町から熊野大泊間の見通しは。

町長

新宮あけぼのから紀宝町までの事業化が決まったことについては官民挙げての活動が十二年前から始まったが早い形で事業化がなされました。住民の皆様をはじめ関係者の方々にお礼を申し上げます。紀宝町から熊野大泊間についても事業化の実現を目指し、取り組みを進めてまいりたい。

議員

二年前の台風十二号による紀伊半島大水害から防災、減災についての意識がさらに高まった中、当町においても高台への施設建設等の施策がなされているが、鵜殿地区の堤谷から鵜殿小学校及び上野地区への町道について伺いたい。防災の観点からもこの地域に防災道路として建設をしては。

産業建設課長

旧鵜殿村の時に一部対面できるように拡幅をしていたが立ち退きを含めた改良は地形的な問題等があり計画はしていません。

議員

現状の道を拡幅するのが難しいのであれば視点を変え新設を考えてはどうか。

産業建設課長

地形または土質等確認をしていないので検討をしてみたいと思います。

議員

検討をするにあたって制約等を考えるのではなく、可能な形を考えては。

町長

道路の安全確保、町民の安全確保の意味からも大事ですし、地域振興する上においても大事だと思っておりますので計画について検討をするように指示してまいりたい。

議員

鶴殿についても防災道路的なものが少なく、壽団地の現状等も道が狭く、そのため防災的にも心配です。将来を見据えた道路計画を。

一次産業

議員

町として取り組み、将来展望について伺いたい。

産業建設課長

農業については水田、樹園地における基盤整備による作業の効率化及び生産性の向上があげられますが、近年そうした地域にも徐々に高齢化、兼業化による荒廃化が進行している。今後は集落営農家による機械の共同利用やコスト削減に取り組み、一方で収入面の上昇に繋げるべく六次産業化、農産物のブランド化等販売面の強化を図って行きたいと考えております。林業については、森林組合等の関係機関と連携をし、林道、作業道の整備、間伐等の事業を行ってまいりました。今後は従来の林道、作業道の基盤整備をより進め、また、同時に作業の集団化を図り生産コスト削減等に取り組んでまいりたい。地元産木材の公共施設への利用も積極的に進めます。

水産業については、平成二十年度から平成二十二年度の三カ年において、つきいそ設置事業等を実施し漁業振興を図ってまいりましたが、平成二十三年度の台風十二号の影響により、藻場、漁場は大きな被害を受け、沿岸域の水産資源は、減少しているという状況です。今後、水産資源回復のため、国、県による大型藻場の設置、つきいそ設置事業などを要望し、更なる漁場整備を進めたいと考えております。

議員

農業センサスは五年スパンでの調査、把握、どのように思われるか。

産業建設課長

農業センサスですが、国勢調査と同じく五年に一度実施されるものですが、二〇〇〇年以降、農業従事者、林業、水産業にしても同じですが、急激に減少率が大きくなっているの、国と同じスパンで調査をしていくには無理があるのかなと考えます。

議員

町として毎年調査をしては。

町長

農業委員会、農業委員会選挙人名簿等で状況が把握できるところとっておりますが、ご指摘いただいた事も踏まえ、十分現状を把握できる体制づくりに努めていかなければならないと思っております。

議員

国の統計以上に当地域の減

少率が進むのが早いのでは。地域によつては離農者が多く発生している。真剣に町、関係機関、関係者等での対策を考えていただきたい。



莊司 健 議員

- ・世界遺産指定における行為の制限について
- ・紀宝町の一次産業に関して
- ・地籍調査の進捗状況について

世界遺産指定における行為の制限

議員

災害時の孤立対策として浅里地区から出ている国道168号線への架橋について先日町長から知事へ要望して頂いたところです。ユネスコの世界遺産登録、文化財保護法、

国立公園特別区域等規制があります。地域住民の交通困難解消のための架橋はできるのでしょうか。

教育課長

世界遺産委員会の勧告に基づきまとめられました三重県の世界遺産保存計画にある史跡等の現状変更等による制限のみご説明します。熊野川では周辺住民の生命財産を守るため河川工事、交通困難を解消するための橋梁架設工事、船舶の交通障害除去のため必要とされる掘削等公益上必要と認められる工作物の設置以外の現状変更等は原則として許可しないとしております。他の法令等はございます。

議員

制度上可能と言うことです。

教育課長

通常は河川法等の許可を得られれば可能ですが、三重県保存管理計画では、公益上の観点から必要と認められる最小限のものを除き、現状変更等は原則として許可しないとしており、この許可を得てもユネスコ世界遺産委員会から指摘を受ける可能性もございます。実際には熊野川のどの場

所で橋梁を整備していくか、その計画を法規制等を確認していくことによって、可能か不可能か判断されることになります。

議員

世界遺産ドイツエルベ溪谷の、架橋による世界遺産登録抹消理由について伺います。

教育課長

国交省調査官の調査報告書に基づきご報告します。エルベ川は、大雨や雪解け水により度々洪水が起こり、緊急避難輸送路対策としての架橋が急務となっていました。世界遺産委員会は、景観保護を理由にトンネルを推奨しましたが、地元市は事業費、避難路機能から橋梁形式を採用することとなり、世界遺産登録の抹消を決定しました。ただし橋の建設位置を除いた再申請は容認しているとのことでした。

議員

熊野川流域には、世界遺産、国立公園法、三重県景観条例等制限がある中で更に厳しい景観条例が実施されようとしています。私個人的には制限は少ない方が良くと思います。

紀宝町の一次産業に 関 し て

議員

次に一次産業の生産額について伺います。

産業建設課長

農業部門柑橘販売額平成23年度3億300万、平成18年度4億3800万で31%減。林業部門31%減。水産部門24%減です。

議員

就業人口の推移は。

産業建設課長

農林漁業センサスで、農業平成22年494人17年対比10%減。林業64人で42%減。漁業67人が55%減です。

議員

今後の推移についてデータが有りますか。

産業建設課長

データは有りませんが、一次産業の情勢から更に減少するものと考えます。

議員

最近、水田農業の相続は生活上マイナスイタ。山林を相続することはさらにマイナスで日常生活が厳しくなります。しかし一次産業の維持に

は、後継者が必要です。45歳以下の新規就農者には5年間150万の助成があるようですが、定年後の新規就農者へ支援策はありますか。

産業建設課長

農業関係の若い新規就農者の助成制度が有りますが45歳以上や林業漁業にはありません。

議員

センサスでも、60歳から79歳の就農者が68%で担い手の中心です。この年齢の新規就農者にも技術の継承とか支援をする必要があると思いますがいかがですか。

産業建設課長

6、7割の方がそこに集中し、退職後のUターン就農も担い手として考え検討してかなければならないかと思えます。

議員

地域間競争の支援策について輸送費の助成など国県へ働きかけの計画は。またTTP関連予算等早めの働きかけはどうでしょうか。

産業建設課長

いまはありませんが、担当者会議などで支援策の創設を求め議題として行きたいと思っています。

地籍調査の進捗状況

議員

地籍調査の進捗状況を伺います。

産業建設課長

地籍調査をした井田地区11箇所のなか2箇所を除き境界がすべて画定せず、登記をできない状況でしたが今年度はその部分はずして登記を進めます。

議員

以前、地籍調査が遅れると山林境界が不明になる。地籍調査の前段として、境界地図の作成をという提案をしました。検討いただきましたか。

産業建設課長

すみません。まだ未着手です。

議員

山林の調査については、高齢化で益々時間有りません。取り組みをお願いします。





榎本 健治 議員

- ・児童生徒の学力向上について
- ・子ども議会について
- ・県立高校の統廃合について
- ・防災対策について

児童生徒の学力向上

議員

子ども達の学力を良くしていく為に、共にどうしたら良いのか一緒に考えていく意味で、平成25年度の全国学力学習状況調査の結果が公表されましたが、紀宝町内の小中学校では、どのような課題があったのか。

教育長

まだ十分に分析検討はできてないが、1点目、学力学習状況とも課題がある。2点目、中学校と比べるとやや小学校

に課題がある。3番目算数数学よりも国語に課題が大きい。4点目家庭学習の時間は、全国に比べ差が大きい。

議員

紀宝町では、課題に対してどのように子ども達の学力を向上させていくのですか。

教育長

学校での日々の授業の更なる改善を図り、まなぶ楽しさを味わわせること、学習意欲を醸し出していくこと。同時に家庭における学習習慣を身につけていく事が必要。県教委の指導主事2名を招聘して指導を受ける。更なる学力向上を目指していかなければならない。

議員

放課後や長期休暇中の学習支援や補助的な学習などきめ細かな指導をしていくためには、土曜日の授業も検討していく必要があるのではないかと。各地で言われておりますが、地域の活動や歴史文化を生かして検討できないか。

町長

私も現実の取り組みとして国県それぞれの市町の教育委員会を含めて検討していくべきと思っております。ただ個

人的は、やはり地域の郷土、自分たちの住んでいる地域の中で、歴史とか文化を勉強していくそのことがやはり郷土を愛する気持ちを強くしていくと思っております。

子ども議会

議員

有意義であった昨年の夏休みに開催していただいた子ども議会について、今年の夏休みは開催がありませんでした、開催しないのか。

教育長

子ども議会を開催するにあたっては、多くの方々の協力を仰がなければならなく準備等も色々大変なところがあ

議員

今年度は開催しないという事ですか。各業務が多忙なのはわかりますが、教育課から見

教育長

子ども議会につきましては毎年開催するものというふう

議員

秋田県では、学力の向上推進事業として子ども議会を開催しております。政治や県の課題に対する関心理解を深め、公の場でしっかりと自分の考えや問を積極的に発言できる子ども達を育成していく事業として開催されています。今年度開催をしていただきませんか。

教育長

子ども議会につきましては本年度中の開催について今後検討させていただきたいと思

議員

教育委員会を子ども議会だけに対しては、僕はもう信用していません。町として取り組めないか。

県立高校の統廃合

議員

平成25年2月の紀南地域高等学校活性化推進協議会のまとめでは、単独校としてそれぞれが、存続することが望ましいが、将来的に地域状況を考慮し紀南高校が1学年2学

年5学級の維持ができないときは、両校の統合は避けられないとしております。小中学校の保護者、生徒に周知がされているのかお聞きします。

教育長

マスコミ等での報道以外には、現時点では完全に周知されていないと思っております。

議員

小学生の保護者や地域の方々にも知っていただく必要がある。早ければ、平成27年3月には、平成24年3月比で38人減となり最短で厳しい状況となります。例年当地域外、県外への進学が多くなっていることも定員割れの大きな原因であるが、地元高校離れを、どのように分析していますか。

教育長

和歌山県と隣接している事情もあり県外へ流れている。地元の高校に入学できるように、独特のものをやっていくべきである。一つになることは選択肢が狭まってくる。ただ学級数が少ないから統合するのではなく、新しい学校を作ると、そういう紀南全体の状況をみて、やはり子ども達

に選択肢は少なくなっただけでも学校へ入ってから、その中で色んな選択できるといって、新しい高等学校を僕はこの際、視野に入れて作っていくべきとおもっています。

議員

協議会のまとめでは、2校存続してできるだけ子ども達に、この2校でかよっていただけ取り組みを全力をあげていかなければいけない。町教育委員会として紀宝町の生徒が地元高校を選択する阻害要因があるのなら、それを払拭する義務があるのではないかと。

防災対策

議員

紀伊半島大水害から2年が経過し危機管理を含めて災害を教訓に今後の備えに、どう生かすべきか。改めて警報基準の一元化について県境を越えて統一できないか。

総務担当理事

大雨が予想される場合新宮市には、大雨警報が早くから発令されたものの一方向に紀宝町には警報が発令されず注意報にとどまっているといった

新宮市への警報発令時間と紀宝町への発令時間に差異がございます。その為津地方気象台に對しまして再三にわたって、地域の状況に應じた気象警報の発令をお願いしている。実情に應じた発令としていただくよう要望をしております。

議員

和歌山県の方の大雨警報基準が3時間の総雨量が100ミリ、三重県が1時間の雨量が70ミリと違いがある。町長の見解をお伺いします。

町長

雨量についての部分で差異があれば一度調査させていただいて、議員ご指摘のように、できるだけ同じ条件の中で発令していただくよう努力してまいりたいと思います。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



平野 美津子 議員

町長の政治姿勢について

他

町長の政治姿勢

議員

「町民主権の町づくり」「職員」「財政について」お伺いします。12号台風の被災者として何回膝をつき合わせて話をしましたか。

町長

町民の皆さま方から色々なお話を伺っています。そういった方々には、真摯に耳を傾けたいと思っていますし、厳しいところについては、ご理解頂けるよう努力してまい

りたいとおもっています。何回いかれたというお話しですが、けれども、どういう会議が何回行ったかはお答えは難しいとおもいます。

議員

12号台風の被災者が町長に直接訴える機会がなかったという方が多々あります。そのような方の想いをどのような場で受け止めていますか。

町長

色々と町民皆様方へ、ご意見を真摯に受け止めて対応してきたところです。

議員

前回の一般質問で高規格道路のことで質問しましたが、町長は「私からそのような話を聞くとは思わなかった」とおっしゃいましたが皆さんの方から電話や直接お話があり指定された地域の方は大きな不安があり、10メートル嵩上げという国交省の話でしたが、それ以上の災害が来たときに、逃げて命は助からない、山の場合であればどこからでも駆け上がることができ

る。「命の道といわれても私たちは死への道ではないか思っています。」と言う話も聞きます。町長は、住民の代表

としてこのような意見を国交省へ届ける姿勢を持っていますか。

町長

津波の避難道路としても利用できる、そういったルート帯の中で決定を頂きました。説明会での図面を見ると15mの高さの道路でした。町民の皆様にも議員おっしゃって頂いた事も十分対応出来るという事もお話しさせていただきましたし、説明会で国土交通省さんから答弁して頂けるとおもっています。

議員

町長の答えでは町民の不安は町長としてきちんと受け止めていただけると解してよろしいですか。

町長

平野議員は何を基準に言われているのか分かりません。高さにおいては十分クリアできる道路計画であると聞いています。地域の皆様、議会の皆様の意見を真摯に受け止め、拝聴する中で国土交通省にも要望等をして安全安心で地域の皆様方にも、生活の基盤に弊害にならないように町づくりを進めてまいりたいとおもいます。

議員

地域の方がまとまった不安等をお持ちでしたら町長が向うか役場で受け止めていただけなのでしょう。

町長

個々の話は非常に難しい色々利害関係も絡んでくるんじゃないかと思います。平野議員もいろんなご意見を聞かれると思いますので、皆様方のご意見をいただいて議会活動の中で直接平野議員からおっしゃっていただければしっかりと耳を傾け対応していきたいと思っています。

議員

財政面ですが合併すれば10年間は両方の自治体が存在しているのと同じ交付金が支給され後5年間支援金がなくなります。平成23年度の決算カードを総務省のホームページでは将来、自立していくための財政指標（将来負担比率）標準財政規模のところの何倍に当たるかという比率ですが三重県の町の1番悪い比率が紀宝町でした。70・9%です。今給をなめさせてもらっているときは状況的に良いかもしれませんが将来のことを考えると不安を感じます。今後の

財政対策をどのように考えていますか。

町長

借金も考慮しながら地域の振興発展のために社会資本整備をしていくということも当然必要でございます。起債（借金）は一律悪いような評価を受けるわけですが、補助事業のように非常に有利な起債もあるわけがございますので社会資本の充実に向けて取り組みを進めてまいりたいと思います。

※この他に、災害時の水の確保について、高岡の輪中堤の対策について、自主防災組織について、救助法の借り上げ家屋について、まなびの郷の運営管理について、矢渕中学校について、教育現場の情報公開についての質問がありました。

□本議会の傍聴をしてみませんか。



本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

■本会議の傍聴

本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

■傍聴の手続き

- 1：役場本庁舎3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順により受け付けています。傍聴席は40席ございます。
- 2：議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

■ご注意

言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。飲食または喫煙をしないでください。携帯電話の電源はお切りください。写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで（☎0735-33-0342）

次回定例会の予定

12月17日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鵜殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、

◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 紀宝町選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の一部改正
- 平成25年度一般会計補正予算（第2号）
- 平成25年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成24年度決算の認定
 - ・一般会計歳入歳出決算
 - ・国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 - ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
 - ・診療所事業特別会計歳入歳出決算
 - ・井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
 - ・町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
 - ・水道事業特別会計決算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
・人権擁護委員に大岡春雄氏（鵜殿）を推薦することに同意しました。
- 紀宝町議会委員会条例の一部改正
- 紀宝町議会会議規則の一部改正

意見書（9月）

- 鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- 大規模地震等災害対策の促進を求める意見書
- 道州制導入に断固反対する意見書
- 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書
- 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書（他2件）

編集後記

実りの秋の季節を向かえ農家の皆様方には、収穫に追われていることと思います。今年には例年になく天候に恵まれる中、柑橘農家は水不足で苦労しましたが、台風被害もなく水稲・柑橘共に豊作とお聞きをしております。さて、本定例会で平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定をさせて頂いたところであります。また、今回の一般質問では数名の議員より次期の町長選挙について質問があり、町長は前向きに考えたと意欲的な答弁があったところであります。本町においては、未曾有の大水害から二年を経過し、公共施設等の復旧に関しては、ほぼ完成に近い状況であります。しかし家屋被害に遭われた方には今なお仮住まいの方がいるとお聞きし、一日も早い復帰を祈るばかりであります。今後はこの災害を教訓とし、さらなる防災・減災への取り組み強化に決意をすることがあります。（文責 大前）

「議会だより」（第28号）

編集委員

向井 健雅

高垣 操男

大前 森重